

令和3年度 お城を中心としたまちづくり懇話会 会議録【概要版】

日時：令和4年2月18日（金） 9:30～12:00

場所：プラザおでって 大会議室

出席者

氏名		役職名等	
倉原宗孝	出	岩手県立大学総合政策学部教授	学識経験者
斎藤純	出	石神の丘美術館美術監督，作家	岩手公園開園100周年記念事業関連
坂本広行	出	宗教法人 櫻山神社 宮司	櫻山地区歴史
下玉利元一	出	盛岡城いしがき文化祭推進フォーラム代表	市民まちづくり団体
高橋智	欠	文化地層研究会 代表	歴史・文化
佐々木祐輔	出	内丸第二町内会 会長	地域住民
大和田祐輔	出	一般社団法人盛岡青年会議所 理事長	商工・観光
工藤昌代	出	盛岡商工会議所女性会 理事	商工・観光
割船活彦	出	盛岡市教育委員会教育部長 代理出席 歴史文化課 課長	
高濱康亘	出	盛岡市都市整備部長	

■事務局

公園みどり課：富樫課長，美濃部課長補佐，佐藤計画係長，佐々木文化財主査，熊谷技師，田畑主事

配布資料

■次第

■懇話会委員名簿

■懇話会設置要領

■議題説明資料

資料1（PowerPoint スライド印刷資料）

資料2（令和3年度事業実施実績調査票）

資料3（別紙 計画見直し案比較資料）

資料4（前回の会議録）

要 旨

報告事項

○史跡盛岡城跡保存整備事業の実施状況について

- 本丸の天守台の跡から基礎が出てこなかったのは残念。

○内丸地区将来ビジョンについて

- 市役所建て替えは何とか内丸地区を第一候補としてもらいたい。
- まちづくりをする＝古い建物をなくして新しい建物にする、となるのは寂しい。
- 単純に建物を新しくするだけだと、どこにでもあるような景観になってしまう。
- ただ更地になって駐車場が増えてもしょうがない。景観的には殺風景である。
- 古いものを生かしていく、という時代である。一度古い建物に歴史的価値があるか、ということを考え、その結果どうするかという議論が必要。

○盛岡城跡公園芝生広場整備事業について

- モノに対する賛否と、進め方に対する賛否の意見があり、結果としてはいい方向に行っているのではないか。
- 盛岡の新たな名所になるだろうから、ぜひ進めてほしい。

意見交換

○お城を中心としたまちづくり計画の見直しについて

- 他の計画との連動性、整合性を明確にしておく必要がある。
- この懇話会の存在意義として、この懇話会でしかできないような視点が計画に盛り込まれるべきである。
- 盛岡の中心市街地について、城下という意識を持ち、まちづくりを進めていければいいと思う。
- 「お城」を指すエリアを明確にすることで、価値の高め方を仕組んでいくことができると思う。
- インフラ整備への支援をお願いしたい。地元住民としても、協力できることはする。行政も同じような問題意識をもって対応していただきたい。
- 歴史的建造物の復元を目指すのであれば、仮に復元した場合、どういう経済効果があるのかという資料があるとより議論が深めやすい。
- 当懇話会は、地域にどういう経済効果や波及効果があり、それを契機に新たに別の事業を展開する、という議論の場となり得るのではないか。
- 本計画に明記することで、他の計画にも影響があることから、他の動いている計画を見守り育てるような位置づけになるとイメージがつく。
- この段階ではまとまり切れるものではないため、次回また案を提示願う。